

令和 7 年 8 月 1 日
株式会社日本政策金融公庫札幌支店

地域の馬鈴薯でんぷんの生産基盤を維持するための事業承継を協調で支援 ～上川管内で初の事業再編計画の認定～

北海道士別市において米穀卸売及び顆粒片栗粉の製造販売を行う株式会社丸三美田実郎商店（代表取締役：太田壽一氏）は、令和 7 年 7 月 18 日付で同市で馬鈴薯でんぷんの製造を行う株式会社カワハラデンブンの事業を引き継ぎ、業務を開始しました。

株式会社北海道銀行及び日本政策金融公庫札幌支店農林水産事業は、地域の馬鈴薯でんぷんの生産基盤の維持につながるため、今回の事業承継に係る費用を連携して支援しました。

《ポイント》

○ 地域の課題の解決に向けた取り組み

士別市を含む上川管内では、温暖化の影響等により栽培が容易な小麦や大豆にシフトしており、馬鈴薯の生産面積が減少しています。株式会社カワハラデンブンの馬鈴薯でんぷん製造業から撤退した場合には、カワハラデンブンの仕入れを行っている株式会社丸三美田実郎商店のオリジナル商品「とろみちゃん」（顆粒片栗粉）の製造も困難となってしまう可能性があります。

丸三美田実郎商店は、カワハラデンブンの事業を引き継ぐことにより、顆粒片栗粉の原料となる馬鈴薯でんぷんの製造販売を行っていきます。また同時に、丸三美田実郎商店が地域の生産者に対し直接アプローチして馬鈴薯の契約栽培を行うことで、生産基盤の維持にも努めていきます。

○ 農林水産省へ農業競争力強化支援法の事業再編計画を申請

今回の取組みにあたり、丸三美田実郎商店は農業競争力強化支援法に基づく事業再編計画を策定し、農林水産省に認定を受けました。同認定は、上川管内では初となります。カワハラデンブンの事業を引き継いで馬鈴薯でんぷんの製造を強化することにより、馬鈴薯でんぷんの生産者の経営安定、さらには発展につなげることを目指します。

○ 地域一体となった支援実施

北海道銀行士別支店及び日本公庫札幌支店は、今回の丸三美田実郎商店の取組みが後継者不足に悩む中小企業の課題解決や、地域の馬鈴薯でんぷんの生産基盤の維持につながることを高く評価し、事業承継にかかる費用を連携して支援しました。

北海道銀行と日本公庫は、今後も連携し、北海道の事業者の皆さまの経営発展、地域活性化に向けた取組みを積極的に支援して参ります。

＜お問い合わせ先＞ 日本政策金融公庫 札幌支店（担当：中島） Tel:011-251-1265

〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西 2 丁目 2-2 北海道経済センタービル 4 階